



農家・農村を支援する 「かのや農援隊」隊員を募集

市では、農家・農村の様々な活動をボランティアで支援する新たな制度として、「かのや農援隊」制度を創設しました。

問 かのや農援隊事務局（市農林水産課内・2階） ☎0994・31・1117

市の農業の現状

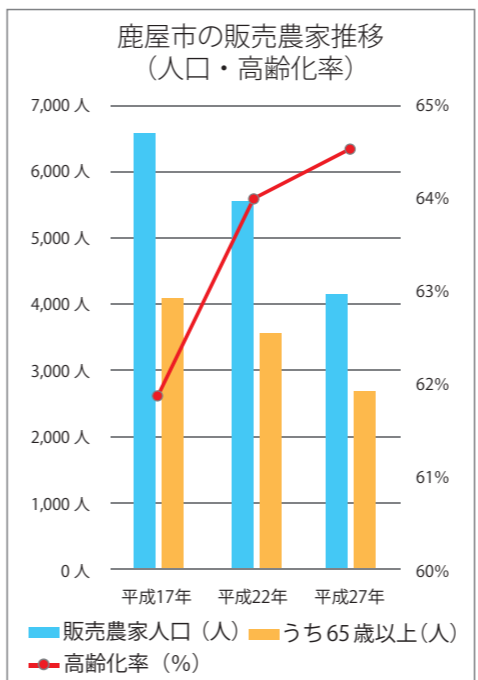
本市は、広大な農地や温暖な気候に恵まれた営農環境のもと、国内上位の産出額を誇る牛・豚の畜産をはじめ、さつまいも、プロッコリー、ピーマン、キュウリなど、多種多様な農業経営が行われ、日本の食料供給基地としての役割を果たしています。

また、畑かん施設の通水や東九州自動車道の開通、大隅加工技術研究センターの開設など、農業発展の追い風となる基盤が整備されています。

しかし、農業を取り巻く環境は、販売農家人口の減少や高齢化・後継者不足に直面しており、また産地間競争の激化、飼料・農業資材価格の高騰、TPP問題など、厳しい状況になっています。

販売農家人口の減少と高齢化の進展

農林水産省の統計によると、本市の販売農家人口は平成17年



※販売農家＝経営耕地面積30a以上又は農産物販売金額が年間50万円以上の農家
※出典：農林業センサス

農業・農村の維持・発展に必要な取り組み

農業は、私たちの生活に不可欠な「食」を生み出す、なくてはならない産業であることも

には6,588人（旧1市3町）でしたが、平成27年には4,152人になっており、約37%減少しています。

また、販売農家人口のうち65歳以上の高齢者の割合は、平成17年の61.9%から、平成27年には64.5%と増加しており、販売農家人口全体の減少と高齢化が同時に進んでいることが分かります。

農業・農村を維持・発展させていくためには、農業経営における人手不足の解消が大きな課題であると考えられることから、農繁期等の労働力の確保に苦勞している農業を、ボランティアで支援してくださる人を広く募集することとしました。また、高齢化で共同作業が困難な農村集落においても「かのや農援隊」の活躍が期待されます。

農援隊への質問にお答えします

Q 主な活動内容は？

A 農家・農村の支援に関する活動全般が対象で、主に次のような活動になります。

- 植え付けや収穫作業等の農業補助
 - 用水路や農道の清掃等の環境保全活動
 - 集落等の祭りや地域行事等の運営補助
- といった、農地や作業場、関連施設などでの活動が中心になります。このほか、

○ 農業団体・組織の会計や総会資料作成、補助金申請手続等の事務作業

についても、農家・農村において必要な作業であり、これらの事務的な活動をしていただく人も募集しています。



農援隊の活動 (キャベツの苗の植え付け)

Q 隊員になる条件は？

A 農援隊に興味をもった人であれば、特別な資格や技術などは必要ありません。どなたでも登録可能ですが、特に次のような人を募集しています。

- 高校生以上の健康な人
- 農業や農村活動の支援をやってみたい人

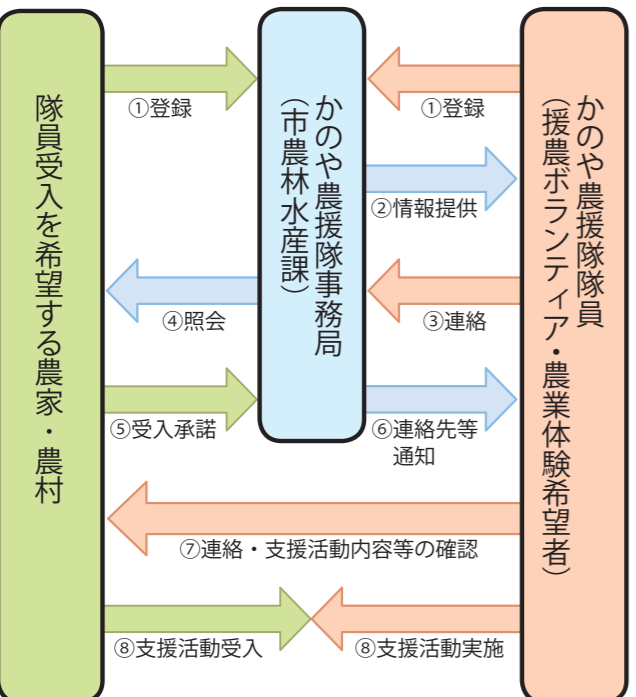
なお、未成年者の登録には保護者の同意が必要となります。

Q 活動する前には手続きが必要ですか？

A 左の図のように、農援隊活動をしてみたい人や、農援隊に活動してほしい農家・農村の皆さんは、事前に農援隊事務局に登録していただき、事務局がマッチングを行います。

マッチング後に、隊員と農家・農村との間で直接、活動の内容や日時、場所などを確認し、活動を実施（受入）します。

「かのや農援隊」マッチングの流れ



Q あらかじめ用意するものは？

A 活動に直接必要な道具などは、受け入れ農家・農村が準備をします。活動をする人は、安全に活動ができる服装などを準備していただきます。

なお、活動はボランティアになりますので、必要に応じて、活動を行う場所までの交通手段や食事などは、ご自身で準備をお願いします。

Q 万が一の補償は？

A ボランティアで活動に従事する場合は、市が加入する「市民活動総合補償制度」を適用します。

ただし、報酬などが生じる場合は適用外となるため、必要に応じて、自分で保険に加入するなどの対応をお願いします。

Q その他、農援隊について聞いてみたいのですが？

A 事務局では、登録や問い合わせ等を随時受け付けます。分からないことがありましたら、お気軽にお問い合わせください。

利用者の声



白寒水 つよし さん (申良町有里)

申良町有里で、ごぼう・キャベツ・大根等の露地野菜を中心に生産しています。

機械化により作業効率を向上させているのですが、細かな作業等、人の手に頼らないとできないこともあります。また、農業は時期により、作業内容や必要人数等が大きく異なってくることから、労働力の確保にも苦勞しているところです。

この制度を紹介してもらって、今回はキャベツの苗の植え付けをお願いしました。ボランティアでお願いしたので、とても丁寧な作業をしていただき、大変助かりました。農家・農村の現状と、ボランティア・農業体験希望者等の想いがうまくつながって、農援隊の制度がより広まってほしいと思います。